

最近、マスコミでも取り沙汰されることが多くなった認知症。日本は超高齢社会へ突入しており、高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍といわれています。高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加するといわれています。

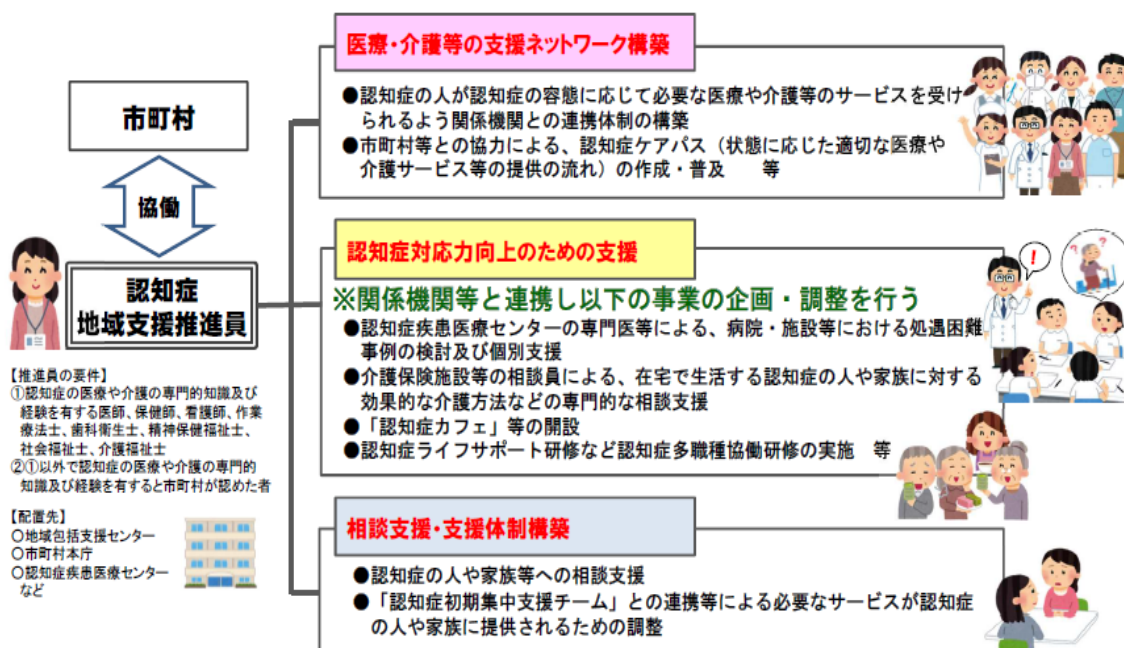
各務原市では、平成27年度より各地域包括支援センターごとに認知症地域支援推進員を配置し、認知症施策に取り組んでいます。まず、認知症地域支援推進員について説明します。

認知症地域支援推進員とは

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために…

- ・ 認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築する。
- ・ 地域の実情に応じて、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進する。
- ・ 医療機関や介護サービスおよび地域の支援機関との連携を図るために支援する。
- ・ 認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

医療と介護、認知症の方々と地域をつなぐ体制づくりの推進役が「認知症地域支援推進員」です。役割は下の図にある通りです。



もの忘れよろず相談医による認知症講話（8月30日）



今年度は「永田内科」院長として地域医療に貢献されている、永田正和先生を講師としてお迎えしました。認知症について、わかりやすくお話してくださいました。

認知症は年単位で悪化していくため落ち着いて考えること、認知症の方は五感の機能が低下しやすいので、その症状に早く気づき受診へつなげること。行動・心理症状が出ているのは認知症が進んでいるということ、介護のコツは行動・心理症状が出ないようにするということなどのお話でした。

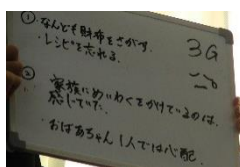
認知症になっても、その方は今まで立派に社会生活を送ってきた方です。その人を愛し、感謝と、時には妥協で対応することも必要とのお話に、私たちが改めて認知症介護のあり方

を学びました。帰り際、「今日は来て良かった～！」と、感激した様子で話される参加者もおられました。

認知症キッズサポーター養成講座（小・中学校）

稲羽西小学校 5年生（6月26日） 稲羽東小学校（12月10日）

稲羽中学校 2年生（11月15日）



各務原市では、平成 27 年度より各学校のご協力のもと市内すべての小学校 5 年生と中学校 2 年生の生徒さんを対象に、認知症キッズサポーター養成講座を行っています。地域包括支援センターつつじ苑では、担当地区の稲羽西小学校、稲羽東小学校、稲羽中学校の生徒さんを対象に、認知症キッズサポーター養成講座を行いました。講座では、認知症は病気であること、認知症の方の気持ちや認知症の方への接し方などを中心にお話させていただきました。

今年度は小中学校ともにドラマ仕立ての動画を見てもらい、認知症の方の気持ちや介護する家族の気持ちをみんなで話し合ってもらいました。

講座後のアンケートでは「笑顔でやさしく接したい」や「同じ目線でゆっくり話したい」「相手にも笑顔でいて欲しいので笑顔でいる」など、相手のことを考えて優しくするという意見が多く挙げられました。講座を受講して感じたやさしい気持ちを大人になっても持ち続けて欲しいと思います。また、受講後アンケートには「将来、人の役に立つ仕事につきたい」との意見もあり、福祉の仕事に興味を持っていただけたのではないかと、とてもうれしく思っています。

認知症サポーター養成講座（稲羽西地区近隣ケア 10月6日）

子ども達だけでなく、地域の皆さんへのサポーター養成講座も行っています。地域の皆さんが認知症という病気を理解し、認知症の方を優しく見守ることで認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、今後も認知症サポーター養成講座およびキッズサポーター養成講座を行っていきます。

オレンジカフェいなば

オレンジカフェ（認知症カフェ）は、認知症の人やその家族、専門職から地域住民の方など、どなたでも参加できる場です。認知症になっても住み慣れた地域で生活ができるよう、支えてくれるたくさんの人達との交流の場として開催しています。認知症に対する理解を深めながら、高齢者をはじめ、誰もが住みやすい地区になるように願っています。今年度は、9月から隔月で第2火曜日の開催となっています。9月、11月は終了しました。広報でのお知らせのみだったためか、参加者が少ない時もありましたが、来ていただいた方にはゆっくりとした時間を過ごしていただけたのではないかと、思っています。



次回来年度の1月8日 13:30~15:00に開催ですが、1月は医師も来ていただける予定ですので、お時間の許す方には、ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。お待ちしております。

各務原市認知症者対応模擬訓練

認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくため、若い世代を中心に認知症への理解や対応方法を学び、早期発見、保護につながることを目指し、11月に市として初の認知症者対応模擬訓練（徘徊模擬訓練）を実施しました。声をかけるのは高校生で、協力していただいたのは岐阜各務野高校の生徒さんたちでした。皆さん初めての経験で、戸惑いながらも認知症の方（役）に声をかけ一生懸命対応する姿が素晴らしかったです。

ご意見をお待ちしています。電話 058-371-2226 FAX058-371-8431（担当 長谷川・石川・林・中村）